　安-1施設の安全確認チェックシート

○　施設の安全確認の手順

　⑴　このチェックシートに沿って、目視による点検を行います。

　⑵　質問１から順番に点検を行い、質問１～６（外部の状況）までで、Ｂ又はＣと判断された場合は、建物内に入ることはせず、質問７以降の内部の状況については点検する必要はありません。

　⑶　危険と認められる場所については、出入口等認識しやすい箇所に貼紙をするなどして、**立入禁止**とします。

　⑷　このチェックシートの質問事項に関わらず、少しでも建物の状況に不安がある場合は、応急危険度判定士による判定を待ちます。

　⑸　使用可能な場合は、ライフライン状況を確認します。

|  |  |
| --- | --- |
| 公共施設名称・棟名称 |  |
| 所在地 | 磐田市 |
| 点検実施日時 | 平成　　　年　　　月　　　日　／　　　時　　　分 |
| 指定管理者・委託の有無 | 有（社名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）・無 |
| 点検実施者　　　所属・職氏名 |  |
| 点検結果報告者　所属・職氏名 |  |

次の質問に該当する箇所へ○を付けて下さい。

**①【外部の状況】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 質問 | | 該当項目 | 該当 |
| １ | 隣接する建物が傾き、該当施設に倒れ込む危険性はありますか？ | いいえ | Ａ |
| 傾いている感じがする | Ｂ |
| 倒れ込みそうである | Ｃ |
| ２ | 建物周辺に地すべり、がけ崩れ、地割れ、墳砂、液状化が生じましたか？ | いいえ | Ａ |
| 生じた | Ｂ |
| ひどく生じた | Ｃ |
| ３ | 建物が沈下しましたか？あるいは、建物周辺の地面が沈下しましたか？ | いいえ | Ａ |
| 生じた | Ｂ |
| ひどく生じた | Ｃ |
| ４ | 建物が傾斜しましたか？ | いいえ | Ａ |
| 傾斜しているような感じがする | Ｂ |
| 明らかに傾斜した | Ｃ |
| ５ | 外部の柱や壁にひび割れがありますか？ | ない又は髪の毛程度のひび割れがある | Ａ |
| 比較的大きなひび割れが入っている | Ｂ |
| 大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える | Ｃ |
| ６ | 外壁タイル・モルタルなどが落下しましたか？ | いいえ | Ａ |
| 落下しかけている又は落下している | Ｂ |

【判定基準】Ｂ・Ｃが一つでもある場合⇒施設内へ立ち入らず、立入禁止措置を行う。

Ａのみの場合⇒②内部の状況を確認する。

**②【内部の状況】共用部分・各部屋**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 質問 | | 該当項目 | 該当 |
| ７ | 床が壊れましたか？ | いいえ | Ａ |
| 少し傾いている、下がっている | Ｂ |
| 大きく傾斜している、下がっている | Ｃ |
| ８ | 内部のコンクリートの柱、壁にひび割れがありますか？ | ない又は髪の毛程度のひび割れがある | Ａ |
| 比較的大きなひび割れが入っている | Ｂ |
| 大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える | Ｃ |
| ９ | 建具やドアが壊れましたか？ | いいえ | Ａ |
| 建具・ドアが動かない | Ｂ |
| 建具・ドアが壊れた | Ｃ |
| 10 | 天井・照明器具が落下しましたか？ | いいえ | Ａ |
| 落下しかけている | Ｂ |
| 落下した | Ｃ |

【判定基準】Ｂ・Ｃが一つでもある場合⇒該当する部屋は使用禁止。ただし、危険原因を除去すれば使用可。

Ａのみの場合⇒該当する部屋は使用可。ただし、他の部屋等の危険箇所を避けて使用。

**③【ライフラインの状況】共用部分・各部屋・トイレ**

* 使えない、状況が確認できない場合は、使えないことを避難者に周知し、代替対応を検討する。

（非常用給水タンク、受水槽からの給水、発電機の使用、無線機等を使用する）

* 下水道接続トイレは、水が使用できても電気が使用できない場合は使用禁止にし、仮設トイレ、

携帯トイレの使用をする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 質　　問 | | 該当項目 |
| 11 | 水は使えますか？ | 使えない |
| 使える |
| 12 | 電気は使えますか？ | 使えない |
| 使える |
| 13 | 電話は使えますか？ | 使えない |
| 使える |
| 14 | ガスは使えますか？ | 使えない |
| 使える |

被害内容メモ

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |

**③　報告方法**

・確認結果をエクセル１-２-３（AlertStationDM\_20\_避難所管理システム）及び無線にて報告

してください。

【留意事項】

・　余震により被害が進んだと思われる場合は、再度チェックシートで被害状況を点検して下さい。

・　本資料は、応急危険度判定が未実施で、判定及び助言を待たずに緊急に施設の安全確認を要する事態が生じた場合、施設の安全確認をするうえでの参考資料として活用してください。

* 応急危険度判定士が現地にいた場合は判定を依頼し、判定士による安全確認であることを本部に報告してください。